

## 産業教育ワーキンググループ

### 産業教育ワーキンググループにおける検討事項

#### 産業教育のイメージ（案）

資質・能力の三つの柱に沿った、職業に関する各教科において育成すべき資質・能力の整理（案）

#### 産業教育における学習のプロセス（イメージ案）

#### 職業に関する各教科の今後の在り方について（たたき台）

#### 職業に関する各教科における系統表・構成表（現行）

## 産業教育ワーキンググループにおける検討事項

### 1. 職業に関する各教科を通じて育成すべき資質・能力について

- ・ 三つの柱に沿った育成すべき資質・能力の明確化について
  - ) 何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）
  - ) 知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）
  - ) どのように社会・世界とかがわり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）
- ・ 職業に関する各教科において育成すべき資質・能力と指導内容との関係について
- ・ 職業に関する各教科の科目構成について

### 2. これまでの実験・実習などの実践的、体験的な学習活動の成果やアクティブ・ラーニングの三つの視点を踏まえた、資質・能力の育成のために重視すべき指導等の改善充実の在り方について

（三つの視点）

- ) 習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた深い学びの過程が実現できているかどうか。
- ) 他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、対話的な学びの過程が実現できているかどうか。
- ) 子供たちが見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる、主体的な学びの過程が実現できているかどうか。

### 3. 国家資格や各種検定、研究発表会や競技会等の活用を含めた、資質・能力の育成のために重視すべき評価の在り方について

### 4. 必要な支援（特別支援教育の観点から必要な支援等を含む）、条件整備等について

なお、検討を進めるにあたっては、専門分野ごとに求められる資質・能力を産業界や関係団体等との間で共有化しながら、以下の事項にも留意する。

職業人として求められる専門的な知識及び技術の高度化や、職業の多様化への対応社会的責任を担う職業人としての規範意識や倫理観等の醸成、豊かな人間性の涵養地域や産業界との連携・交流を通じた、地域の産業や社会を担う人材の育成

# 産業教育のイメージ（案）

## （高等学校専攻科）

高等学校若しくはこれに準ずる学校等を卒業した者等に対して、精深な程度において、特別の事項を教授し、その研究を指導することを目的として設置される課程（修業年限1年以上）。

## 【高等学校】

### （産業教育）

各職業分野に関する知識と技術を習得させるとともに、各職業の社会的意義や役割を理解させる。

各職業分野に関する課題（求められる職業能力の高度化、持続可能な社会の構築、グローバル化・少子高齢化等への対応）を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力を育成する。

職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を育成する。

## （共通教科）

家庭や個人の生活及び社会の課題の解決に必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等、態度等の育成。

職業において共通に必要なとされる知識・技能、思考力・判断力・表現力等、態度等の育成。

## 【義務教育】

家庭や個人の生活及び社会の課題の解決に必要な基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等、態度等の育成。

職業において共通に必要なとされる基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等、態度等の育成。

産業・社会と共有化

多様な評価手法



高等学校基礎学力テスト（仮称）



全国学力・学習状況調査



# 資質・能力の三つの柱に沿った、職業に関する各教科において育成すべき資質・能力の整理（案）

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)
産業教育 全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>各職業分野に関する知識と技術</li> <li>各職業の社会的意義や役割の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各職業分野に関する課題(求められる職業能力の高度化、持続可能な社会の構築、グローバル化・少子高齢化等への対応)を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業人として必要な豊かな人間性</li> <li>より良い社会の構築を目指して自ら学び、産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度</li> </ul>
農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業の各分野に関する知識と技術</li> <li>農業の社会的意義や役割の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業人として必要な豊かな人間性</li> <li>より良い社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度</li> </ul>
工業	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業の各分野に関する知識と技術</li> <li>工業の社会的意義や役割の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業の各分野に関する諸課題を発見し、技術者としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業を支える技術者として必要な豊かな人間性</li> <li>より良い工業と社会の構築を目指して自ら学び、工業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度</li> </ul>
商業	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業の各分野に関する知識と技術</li> <li>ビジネスの社会的意義や役割の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスに関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業人として必要な豊かな人間性</li> <li>より良い社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度</li> </ul>
水産	<ul style="list-style-type: none"> <li>水産や海洋の各分野に関する知識と技術</li> <li>水産業及び海洋関連産業の社会的意義や役割の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水産や海洋に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業人として必要な豊かな人間性</li> <li>より良い社会の構築を目指して自ら学び、水産業及び海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活産業に関する知識と技術</li> <li>生活産業の社会的意義や役割の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活産業に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業人として必要な豊かな人間性</li> <li>より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活産業に関わる地域の産業や生活の質の向上を目指して主体的かつ協働的に取り組む態度</li> </ul>
看護	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護に関する知識と技術</li> <li>看護の社会的意義や役割の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業人として必要な豊かな人間性</li> <li>より良い社会の構築を目指して自ら学び、人々の健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度</li> </ul>
情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の各分野に関する知識と技術</li> <li>情報産業の社会的意義や役割の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業人として必要な豊かな人間性</li> <li>より良い社会の構築を目指して自ら学び、情報産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度</li> </ul>
福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉の各分野に関する知識と技術</li> <li>福祉の社会的意義や役割の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業人として必要な豊かな人間性</li> <li>より良い社会の構築を目指して自ら学び、広い視野をもって地域福祉の課題と向き合い、主体的かつ協働的に取り組む態度</li> </ul>

## 他者への働きかけ、他者との協働、外部との相互作用

課題発見・解決  
のプロセス

**課題の発見**  
解決すべき職業に関する課題を把握する

**課題解決の方向性の検討**  
関係する情報を収集する。予想や仮説を立てる

**計画の立案**  
計画を立案する

**計画の実施**  
計画に基づき解決策を実践する

**結果・振り返り**  
結果とともに計画を検証する

次の課題発見へ

知識・技術

・課題の発見、計画の立案・実施の基となる専門的な知識・技術の習得

・専門的な知識・技術の定着

判断・思考・表現

・職業の視点から解決すべき課題の発見

・職業人としての倫理観に基づく合理的かつ創造的な解決策の考察・決定  
・関係者への説明や意見交換

・計画の実施に当たっての専門的な知識・技術の活用

・より合理的かつ創造的な改善策の考察

情意・態度

・より良い社会の構築に向け課題を発見しようとする態度

・主体的かつ協働的に課題に取り組もうとする態度

・学習したことを次の学びや産業・社会の発展に生かそうとする態度

\* 上記のプロセスや評価場面は例示であり、これらに限定されたり、この全ての機会において評価を行うことが必ずしも求められるものではない。

## 職業に関する各教科の今後の在り方について(たたき台)

# 農業科の今後の在り方について（たたき台）

## 現状と課題

- ・安全・安心な食料の持続的・安定的な生産と供給
- ・農業の六次産業化とグローバル化
- ・消費者ニーズと食をめぐる課題の多様化
- ・農業の技術革新と高度化
- ・農業・農村の有する多面的機能の維持
- ・森林等地域資源の有効活用

## 育成する人材像

- ・農業の学びを通して、地域農業及び地域産業・地域社会の持続的な発展を担う職業人

## 育成する資質・能力

個別の知識・技術  
農業の各分野に関する知識と技術、農業の社会的意義や役割の理解  
思考力・判断力・表現力等  
農業に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力  
学びに向かう力、人間性等  
職業人として必要な豊かな人間性、より良い社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度

## 見方や考え方等

- ・農産物の生産や経営の視点から農業や関連産業を捉え、生産性及び品質向上や経営改善に向けて考察し実践すること
- ・農産物の加工や流通の視点から農業や関連産業を捉え、生産性及び品質向上や経営改善に向けて考察し実践すること
- ・農地や森林の保全や環境修復・再生の視点から農業や関連産業を捉え、地域の環境創造に向けて考察し実践すること
- ・農業生物や地域資源の活用の視点から農業や関連産業を捉え、地域創造と生活の質的向上に向けて考察し実践すること

## 科目構成の方向性

- ・現在の「農業経営、食品産業分野」と「バイオテクノロジー分野」を再構造化し、バイオテクノロジーを含む「農業生産や農業経営の分野」と「食品製造や食品流通の分野」に整理
- ・農業の各分野において、持続可能で多様な環境に対応した学習の充実
- ・農業経営の六次産業化や法人化等に対して経営感覚の醸成を図るための学習の充実
- ・安全・安心な食料の持続的な生産と供給に対応した学習の一層の充実
- ・農業の技術革新と高度化等に対応した学習の充実
- ・農業の持つ多面的な特性を学習内容とした地域資源に関する学習の充実

## 学びの例

～深い学び、対話的な学び、主体的な学び～

- ・学習意欲を喚起するための、栽培や飼育、環境調査などの体験的・継続的な学び（計画、観察、記録、まとめ、分析と考察等）
- ・思考力・判断力・表現力を育成するための、農業生物の特性と地域環境を科学的に捉える学び
- ・課題解決能力を育成するための「課題設定、計画立案、実施、反省・評価」の過程を通じた学び（学校農業クラブ、プロジェクト学習）

# 工業科の今後の在り方について(たたき台)

## 現状と課題

- ・ものづくり産業を担う創造性をもった人材の育成
- ・若年技術者・技能者の育成を図るため、ものづくり産業における技術や技能の伝承
- ・安全・安心な社会の構築に向けて、ものづくり人材が持つべき倫理観を高めることの必要性
- ・IoT(ものづくりの効率化と生産性向上を図るものインターネット)への対応や、製造現場等で人と協調する自動化システム(人工知能等)の技術革新の開発が加速すること等、ものづくりの在り方への対応
- ・地球温暖化など環境保全や、資源の枯渇、電力や化学をはじめとするエネルギーの有効な活用に関する課題への対応
- ・標準化の確立による競争など、産業のグローバル競争が激化することへの対応

## 育成する人材像

- ・ものづくりを通して、地域・産業を支え新たな時代を切り拓く創造性豊かで実践的な技術者

## 育成する資質・能力

### 個別の知識・技術

工業の各分野に関する知識と技術、工業の社会的意義や役割の理解

思考力・判断力・表現力等

工業の各分野に関する諸課題を発見し、技術者としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力

学びに向かう力、人間性等

工業を支える技術者として必要な豊かな人間性、より良い工業と社会の構築を目指して自ら学び、工業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度

## 見方や考え方等

- ・安全で安心な製品を提供する視点からものづくりを捉え、製造現場における合理的なものづくりの方策の活用に向けて考察し、社会を支える付加価値の高い創造的な製品の開発を図ること
- ・工業の各分野で情報化が図られている視点からものづくりを捉え、高度に発展する情報技術を製造現場等での有効な活用に向けて考察し、自動化システムの発展を図ること
- ・持続可能な社会の構築の視点からものづくりを捉え、資源・エネルギーの有効活用、環境保全に向けて考察し、ものづくりの発展を図ること

## 科目構成の方向性

- ・工業の各分野で横断的に履修する科目について、知識や技術及び技能の活用に関する学習の充実
- ・情報技術分野と電子分野に関わる組み込み技術について知識と技術の一体的な習得を図る学習の充実
- ・電子機械に関わる知識と技術の活用に関する学習の充実
- ・環境問題や省エネルギーに対応した学習の充実
- ・耐震技術やユニバーサルデザイン等の知識と技術に関する学習の充実
- ・グローバルな視点を取り入れた学習の充実
- ・その他、技術の高度化や情報技術の発展等への対応に関する学習の充実

## 学びの例～深い学び、対話的な学び、主体的な学び～

- ・知識や技術などを身に付けるため、ものづくりに関して、科学的な根拠を踏まえた実験や実習などの実践的な学び
- ・工業の意義や工業技術を理解し、工業に関する諸課題を発見するため、具体的な事例を取り上げ、科学的な根拠を踏まえた考察や討論などの学び
- ・身に付けた知識や技術及び技能を活用するため、産業界等との協働による研究開発や地域の課題の解決につながる製品の考案などの学び
- ・産業現場での事故や事件に遭遇しないため、法令遵守や技術者倫理を高めることにつながる学び



# 商業科の今後の在り方について(たたき台)

## 現状と課題

- ・グローバル化の急速な進展
- ・ICTの進歩とインターネットを活用したビジネスの普及
- ・観光立国を目指した観光産業の振興
- ・地域ビジネスの活力の低下
- ・コミュニケーション能力の低下

## 育成する人材像

- ・ビジネスを通して、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人

## 育成する資質・能力

個別の知識・技術  
商業の各分野に関する知識と技術、ビジネスの社会的意義や役割の理解  
思考力・判断力・表現力等  
ビジネスに関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力  
学びに向かう力、人間性等  
職業人として必要な豊かな人間性、より良い社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度

## 見方や考え方等

- ・マーケティングの視点から企業活動を捉え、顧客満足の実現と顧客の創造に向けて考察し、企業の発展を図ること
- ・マネジメントの視点から企業活動を捉え、経済社会の動向や法令等を踏まえた適切な意思決定に向けて考察し、企業の発展を図ること
- ・会計の視点から企業活動を捉え、適切な会計情報の提供及び効果的な会計情報の活用に向けて考察し、企業の発展を図ること
- ・情報の視点から企業活動を捉え、ビジネスに関する情報の適切な処理及び情報や情報通信技術の効果的な活用に向けて考察し、企業の発展を図ること

## 科目構成の方向性

- ・観光に関する知識と技術を習得させ、観光の振興に取り組む態度を育成する学習の一層の充実
- ・ビジネスにおけるコミュニケーションに関する学習の充実
- ・商品の開発と流通に関する知識と技術の一体的な習得
- ・ビジネスに関わるマネジメントに関する学習の充実
- ・経済のグローバル化に関する学習の充実
- ・情報通信ネットワークを活用したビジネスに関する学習の充実
- ・プログラミングとシステム開発に関する知識と技術の一体的な習得
- ・情報通信ネットワークの構築・運用管理とセキュリティに関する学習の重点化

## 学びの例～深い学び、対話的な学び、主体的な学び～

- ・知識や技術を身に付けるための、科学的な根拠を踏まえた実験的・実証的な学び
- ・ビジネスの意義や実際のビジネスを理解し、ビジネスの課題を発見するための、具体的な事例を取り上げた考察や討論などの学び
- ・企画力や創造力を養うための、産業界等との協働による商品の開発やビジネスの考案などの学び
- ・実社会で実践する力を磨くための、地域における模擬株式会社経営などの学び

# 水産科の今後の在り方について（たたき台）

## 現状と課題

- ・水産業との共存を図った持続可能な海洋利用への対応  
(海洋環境保全、海洋開発、里海づくり等)
- ・水産物需要の世界的な変化に対応した競争力のある水産業への展開  
(TPP、輸出促進、技術革新等)
- ・資源管理を考慮した品質重視型漁業への対応  
(ブランド化、HACCP、トレーサビリティ等)
- ・活力ある生産構造の構築  
(六次産業化、加工品の開発、魚食普及等)
- ・産業のグローバル化への対応  
(海上交通等の国際標準化、加工施設・養殖施設の海外進出等)

## 育成する人材像

- ・水産業や海洋関連産業を通して、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人

## 育成する資質・能力

個別の知識・技術  
水産や海洋の各分野に関する知識と技術、水産業及び海洋関連産業の社会的意義や役割の理解  
思考力・判断力・表現力等  
水産や海洋に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力  
学びに向かう力、人間性等  
職業人として必要な豊かな人間性、より良い社会の構築を目指して自ら学び、水産業及び海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度

## 見方や考え方等

- ・海洋漁業の視点から水産や海上交通を捉え、環境や資源等に配慮した安全で経済的な漁業や船舶運航の実現に向けて考察し、適切に実践すること
- ・海洋工学の視点から船舶や海洋関連機器を捉え、環境に配慮した安全で経済的なマリンエンジニアリングの実現に向けて考察し、適切に実践すること
- ・情報通信の視点から海上における情報伝達を捉え、セキュリティを考慮した円滑な通信業務の実現に向けて考察し、適切に実践すること
- ・資源増殖の視点から水生生物を捉え、生態系や環境に配慮した安全で経済的な養殖業の実現に向けて考察し、適切に実践すること
- ・水産食品の視点から食品の製造や流通を捉え、品質管理・衛生管理を考慮した安全で経済的な水産食品の持続的な供給に向けて考察し、適切に実践すること

## 科目構成の方向性

- ・水産の各分野において、海面の多様な利用を踏まえ、海洋環境基準及び環境保全等に対応した学習の充実
- ・水産の各分野において、水産や海洋に関連する機器や流通等の技術革新に対応した学習の充実
- ・水産の各分野において、船舶や企業内における情報セキュリティや、食品の安全に関わる産業としての危機管理に関する学習の充実
- ・水産物・水産加工品の品質管理・衛生管理に関する学習の充実
- ・漁業、水産加工業における基礎的・基本的な経営に関する学習の充実
- ・漁船をはじめとした船員養成の国際基準等に対応した学習の充実

## 学びの例 ~深い学び、対話的な学び、主体的な学び~

- ・水産や海洋における知識や技術などを身に付けるための、科学的な根拠を踏まえた実験的・実証的な学び
- ・水産業や海洋関連産業の意義を理解し、実際の地域産業における具体的な事例を取り上げ、その課題を発見するための考察や討論などの学び
- ・地域の課題を解決する企画力や創造力を養うための、産業界等との協働による商品の開発や知的財産権などの学び
- ・産業社会で実践する力を磨くための、実習船や産業現場における長期の実習などの学び

# 家庭科の今後の在り方について(たたき台)

## 現状と課題

- ・食育の推進や専門性の高い調理師養成への対応
- ・少子高齢化への対応
- ・価値観やライフスタイルの多様化、複雑化する消費生活等、現代的な課題への対応
- ・生活文化の継承・創造
- ・地域産業の活力の低下、マネジメント能力の育成
- ・生徒の生活体験の減少等による基礎的・基本的な技術の低下

## 育成する人材像

- ・生活の質の向上や社会の発展を図る生活産業を通して、地域や社会を支える人間性豊かな職業人

## 育成する資質・能力

個別の知識・技術  
生活産業に関する知識と技術、生活産業の社会的意義や役割の理解

思考力・判断力・表現力等  
生活産業に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力

学びに向かう力、人間性等  
職業人として必要な豊かな人間性、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活産業に関わる地域の産業や生活の質の向上を目指して主体的かつ協働的に取り組む態度

## 見方や考え方等

- ・人間の生活を支える生活産業の視点から、衣食住、ヒューマンサービス等に係る生活事象を捉え、健康・快適・安全な生活の創造、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築に向けて考察し実践すること

## 科目構成の方向性

- ・調理師法施行令、調理師法施行規則の改正(平成27年4月1日施行)に伴う科目の再編成
- ・食育の推進等、食に関する学習の充実
- ・子供の発達や地域の子育て支援に関する学習の充実
- ・複雑化する経済社会や消費生活の理解に関する学習の充実
- ・生活文化の継承・創造に関する学習の充実
- ・職業人としてのマネジメント能力の育成に関する学習の充実

## 学びの例～深い学び、対話的な学び、主体的な学び～

- ・知識や技術などを身に付けるための科学的根拠を踏まえた実践的・体験的な学び
- ・生活産業の意義やその社会的役割、職業や関連する資格について理解し、課題を発見するために具体的な事例を取り上げた考察や討論などの学び
- ・マネジメント能力や創造力を育成するために、産業界等との協働による商品開発や企画・提案などの学び
- ・職業人として地域や社会を支える視点から、地域産業との連携を一層深める学び(学校家庭クラブ活動等)

# 看護科の今後の在り方について（たたき台）

## 現状と課題

- ・ 少子高齢化の進行、入院期間の短縮、在宅医療の拡大などへの対応
- ・ 多様な患者の状態に応じた医療事故防止への対応と医療安全の推進
- ・ 医療に関する多様な倫理的課題への対応

## 育成する人材像

- ・ 看護を通して、地域や社会の保健医療福祉を支え、人々の健康の保持増進に寄与する人材

## 育成する資質・能力

### 個別の知識・技術

看護に関する知識と技術、看護の社会的意義や役割の理解

### 思考力・判断力・表現力等

看護に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力

### 学びに向かう力、人間性等

職業人として必要な豊かな人間性、より良い社会の構築を目指して自ら学び、人々の健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度

## 見方や考え方等

- ・ 看護の視点から健康に関わる問題を捉え、人々の健康の保持増進及び疾患や治療の影響を受ける生活の質の向上に向けて考察し、当事者ととともに適切に実践すること

## 科目構成の方向性

- ・ 多職種と連携・協働し、多様な生活の場にいる人々の看護について、専門性の高い実践力を養う学習の充実
- ・ 医療安全に関する学習の充実
- ・ 各領域における倫理的課題に関する学習の充実

## 学びの例

～深い学び、対話的な学び、主体的な学び～

- ・ 看護に関する知識・技術の科学的根拠を理解するための、実験・実習や調べ学習による体験的・実証的な学び
- ・ 看護に関する知識・技術を確実に身に付けるための、ジグソー法や反転学習、異学年交流、プロジェクト学習などを校内実習に取り入れた主体的な学び
- ・ 看護実践力を養うための、臨地実習や課題を設定したロールプレイ・シミュレーション演習などによる応用的な学び
- ・ 生命倫理や権利擁護、多様な価値観などについて理解を深めるための、事例を活用した協議や振り返りによる深い学び

# 情報科の今後の在り方について（たたき台）

## 現状と課題

- ・知識基盤社会の到来とグローバル化による情報社会の進展
- ・高度な技術を持つIT人材の需要が増大
- ・特にインターネット，Webコンテンツの作成，セキュリティ，情報処理サービス，ソフトウェア関連の人材が不足
- ・将来の予測が困難な複雑で変化の激しい社会

## 育成する人材像

- ・情報の活用を通して、地域産業をはじめ情報社会の健全で持続的な発展を担う職業人

## 育成する資質・能力

個別の知識・技術  
情報の各分野に関する知識と技術、情報産業の社会的意義や役割の理解  
思考力・判断力・表現力等  
情報に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力  
学びに向かう力、人間性等  
職業人として必要な豊かな人間性、より良い社会の構築を目指して自ら学び、情報産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度

## 見方や考え方等

- ・システムの設計・管理分野の視点から情報社会を捉え、情報セキュリティを保ちつつ、情報の科学的理解に基づいた情報技術の適切な活用に向けて考察し、日常生活や社会に必要なシステムを構築すること
- ・情報コンテンツの制作・発信の視点から情報社会を捉え、情報セキュリティを保ちつつ、情報の科学的理解に基づいた情報技術の適切な活用に向けて考察し、日常生活や社会に必要なコンテンツを制作すること

## 科目構成の方向性

- 現在の「システムの設計・管理分野」、「情報コンテンツの制作・発信分野」は維持しつつ、
- ・情報セキュリティに関する知識と技術を習得させ、情報の安全を担う能力と態度を育てる学習の一層の充実
  - ・情報コンテンツを利用した様々なサービスや関連する社会制度についての知識や技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる学習の一層の充実
  - ・システムの設計・管理と情報コンテンツの制作・発信に関する実践力の一体的な習得
  - ・情報メディアと情報デザインに関する知識と技術の一体的な習得
  - ・問題解決やプログラミングに関する学習の充実
  - ・統計的手法の活用やデータの分析、活用、表現に関する学習の充実
  - ・データベースの応用技術に関する学習の充実
  - ・ネットワークの設計、構築、運用管理、セキュリティに関する学習の充実
  - ・コンピュータグラフィックや情報コンテンツの制作に関する学習の充実

## 学びの例～深い学び、対話的な学び、主体的な学び～

- ・知識や技術などを身に付けるための、科学的な根拠を踏まえた実験的・実証的な学び
- ・情報産業の意義や実際の職務内容を理解し、情報産業の課題を発見するための、具体的な事例を取り上げた考察や討論などの学び
- ・高度な技術力を養うための、産業界等との協働による学習や競技会への参加
- ・実社会で実践する力を磨くための、地域との協働によるソフトウェアの開発

# 福祉科の今後の在り方について(たたき台)

## 現状と課題

- ・ 医療的ケアなど福祉ニーズの高度化と多様化への対応
- ・ 介護実践における倫理的課題やマネジメント能力・多職種協働を進める能力等への対応
- ・ ICT・介護ロボットなど福祉機器を活用した介護実践への対応

## 育成する人材像

- ・ 福祉の実践的な学習を通して、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人

## 育成する資質・能力

個別の知識・技術  
福祉の各分野に関する知識と技術、福祉の社会的意義や役割の理解  
思考力・判断力・表現力等  
福祉に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力  
学びに向かう力、人間性等  
職業人として必要な豊かな人間性、より良い社会の構築を目指して自ら学び、広い視野をもって地域福祉の課題と向き合い、主体的かつ協働的に取り組む態度

## 見方や考え方等

- ・ 福祉の視点から生活に関わる問題を捉え、人間の尊厳と自立支援に向けて考察し、当事者とともに適切に実践すること

## 科目構成の方向性

- ・ 医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な学習の追加
- ・ 介護従事者に求められるマネジメント能力に関する学習の追加
- ・ 介護従事者に必要な倫理に関する学習の充実
- ・ 介護実践における多職種協働に関する学習の充実
- ・ 介護における福祉用具や介護ロボット等を含む福祉機器に関する学習の充実

## 学びの例

～ 深い学び、対話的な学び、主体的な学び～

- ・ 福祉に関する知識や技術を身に付けるための、科学的な根拠を踏まえた実践的・体験的な学び
- ・ 自立生活支援を目指した介護の意義と役割を理解し、具体的な事例検討による考察や課題解決に向けた学び
- ・ 地域社会における多様な福祉ニーズを把握するための実証的な学び
- ・ 介護実践力を養うための実習施設などとの連携による協働的な学び

# 農業科における系統表・構成表(現行)

## 教科の目標

農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、農業の社会的な意義と役割について理解させるとともに、農業に関する諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、持続的かつ安定的な農業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

育成する人材像: 地域農業をはじめ地域産業の健全で持続的な発展を担う職業人(将来の地域農業を担う人材、人間性豊かな職業人)

育成する力

農業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術  
農業の社会的な意義や役割を理解する力

農業の諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決する能力  
持続的かつ安定的な農業と社会の発展を図る創造的な能力

農業に関する実践的な態度

## 4つの分野と科目構成

### 農業経営、食品産業分野

農業経営や食品産業の基礎的・基本的な知識と技術並びに実践的な態度

農業経営 農業機械 農業経済 食品流通

作物 野菜 果樹 草花 畜産 食品製造 食品化学 微生物利用

### バイオテクノロジー分野

農業におけるバイオテクノロジーの基礎的・基本的な知識と技術を並びに実践的な態度

植物バイオテクノロジー 動物バイオテクノロジー

### 環境創造・素材生産分野

林産物の生産や経営及び国土の保全と創造についての基礎的・基本的な知識と技術並びに実践的な態度

林産物利用 農業土木設計 環境緑化材料  
森林経営 農業土木施工 造園設計  
森林科学 水循環 造園技術  
測量

### ヒューマンサービス分野

農業生物や地域資源を活用した対人サービスの基礎的・基本的な知識と技術並びに実践的な態度

生物活用 グリーンライフ

共通的な科目

農業と環境 農業情報処理 総合実習 課題研究

# 工業科における系統表・構成表(現行)

## 教科の目標

工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、現代社会における工業の意義や役割を理解させるとともに、環境及びエネルギーに配慮しつつ、工業技術の諸問題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、工業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

【育成する人材像】 工業技術・技能の基礎・基本を習得しており、自ら手を動かすことに慣れていることから、実践を通して思考・判断・表現できる点で、ものづくりに対して優れている人材

## 【育成する力】

工業技術や社会の持続可能な発展を図るために必要となる知識や技術・技能  
 中学校までに身に付けた科学的な見方や考え方、ものづくりの技能を基盤として、工業各分野の知識や技術・技能をものづくりをおこなう中で、産業や社会とのつながりも意識して、答えが一つに定まらない課題に対して、自ら解を見出し、このようとする思考力・判断力・表現力等の能力  
 地域で課題となっていることに対して、主体性を持って、多様な人々と協働しつつ、「どのようなものをいかに作るか」について学ぶ態度  
 工業製品を高校生の視点や好奇心で見たときに、改善する点を見だし提案することができる態度  
 入学した時点で期待できる特定の成長過程があったとしても、学校や授業の状況などから、工業の学びを通して、生徒の成長に応じてさらに変化をうながすことができることから、自らが変革を牽引できるスペシャリストの育成

## 工業の各分野と科目構成

原則履修科目・工業技術基礎	各学科における共通の内容で、かつ基礎的・基本的な内容で構成された科目： 「実習」「製図」「工業数理基礎」「情報技術基礎」	各学科の特色や生徒の進路希望により選択して履修する科目： 「材料技術基礎」「生産システム技術」「工業技術英語」「工業管理技術」「環境工学基礎」	<p><b>機械に関する分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>機械技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、製品の設計・加工・製造等に関する機械技術の諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度</li> <li>機械に関する学科の科目：「機械工作」「機械設計」「原動機」</li> </ul>	原則履修科目・課題研究
			<p><b>電子機械に関する分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子機械技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、諸要素を組み合わせた制御に関する電子機械技術の諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度</li> <li>電子機械に関する学科の科目：「電子機械」「電子機械応用」</li> </ul>	
			<p><b>自動車に関する分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、自動車に関する諸情勢・法規や規格・環境や資源エネルギー・安全・車体構造等の諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度を育てる</li> <li>自動車に関する学科の科目：「自動車工学」「自動車整備」</li> </ul>	
			<p><b>電気に関する分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電気技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、電気現象・電氣的諸量の相互関係、各種電気機器の原理・構造・特性・取扱い、電力の供給・運用等の諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度</li> <li>電気に関する学科の科目：「電気基礎」「電気機器」「電力技術」「電子技術」</li> </ul>	
			<p><b>電子に関する分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、電子回路用素子の特性・機能・構成・取扱い、計測制御システム、情報通信システム等の諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度</li> <li>電子に関する学科の科目：「電子回路」「電子計測制御」「通信技術」「電子情報技術」</li> </ul>	
			<p><b>情報技術に関する分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、コンピュータにおける技術革新やその活用等に関する諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度</li> <li>情報技術に関する学科の科目：「プログラミング技術」「ハードウェア技術」「ソフトウェア技術」「コンピュータシステム技術」</li> </ul>	
			<p><b>建築に関する分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建築技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、建築物を合理的に、かつ倫理観をもって設計し、施工することに関する諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度</li> <li>建築に関する学科の科目：「建築構造」「建築計画」「建築構造設計」「建築施工」「建築法規」</li> </ul>	
			<p><b>設備工業に関する分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設備工業技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、各種建築物の諸条件に適合した空調・給排水衛生設備などの設計、施工、保守管理に関する諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度</li> <li>設備工業に関する学科の科目：「設備計画」「空調和設備」「衛生・防災設備」</li> </ul>	
			<p><b>土木に関する分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土木技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、社会基盤の整備を合理的に、かつ倫理観をもって設計し、施工することに関する諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度</li> <li>土木に関する学科の科目：「測量」「土木基礎力学」「土木構造設計」「土木施工」「社会基盤工学」</li> </ul>	
			<p><b>化学工業に関する分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化学工業技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、物質の性質や変化、プラントの装置・計測・制御及び環境保全等に関する諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度</li> <li>化学工業に関する学科の科目：「工業化学」「化学工学」「地球環境化学」</li> </ul>	
			<p><b>材料技術に関する分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>材料技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、各種工業材料の製造、組織、性質、保全、用途等に関する諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度</li> <li>材料技術に関する学科の科目：「材料製造技術」「工業材料」「材料加工」</li> </ul>	
			<p><b>セラミックに関する分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セラミック技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、セラミックの原料、組織、物性、製造、用途等に関する諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度</li> <li>セラミックに関する学科の科目：「セラミック化学」「セラミック材料」「セラミック工業」</li> </ul>	
			<p><b>繊維に関する分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>繊維技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、繊維製品の製造、染色技術、染織デザインの製品化等に関する諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度</li> <li>繊維に関する学科の科目：「繊維製品」「繊維・染織技術」「染織デザイン」</li> </ul>	
			<p><b>インテリアに関する分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インテリア技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、インテリアの計画・設計・施工・管理及び空間を構成するインテリアエレメントの企画・設計・生産技術に関する諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度</li> <li>インテリアに関する学科の科目：「インテリア計画」「インテリア装備」「インテリアエレメント生産」</li> </ul>	
			<p><b>デザインに関する分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デザイン技術の変化にも対応して身に付けた知識・技能を活用しながら、例えば、デザインの意義、要素、用途に関する諸課題を主体的に発見し、協働して実践的に解決する能力と態度</li> <li>デザインに関する学科の科目：「デザイン技術」「デザイン材料」「デザイン史」</li> </ul>	



# 商業科における系統表・構成表(現行)

## 教科の目標

商業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネスの意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって行い、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

## 育成する人材像

地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人

### 【ビジネスの理解力と実践力】

知識や技術を基に、ビジネスを理解し、実践する力(顧客満足実現能力、ビジネス探究能力、会計情報提供・活用能力、情報処理・活用能力)

### 【ビジネスに必要な豊かな人間性】

倫理観、遵法精神、規範意識、責任感、協調性など

### 【総合的科目】

課題研究(原則履修科目)

総合実践

### 【総合的科目】

ビジネス実務

### 【各分野の科目】

マーケティング分野  
[顧客満足実現能力]

商品  
開発

広告と  
販売促進

マーケティング

ビジネス経済分野  
[ビジネス探究能力]

経済活動と法

ビジネス  
経済

ビジネス  
経済応用

会計分野  
[会計情報提供・活用能力]

財務会計

財務会計

簿記

管理会計

原価  
計算

ビジネス情報分野  
[情報処理・活用能力]

ビジネス情報管理

ビジネス  
情報

プログラ  
ミング

電子  
商取引

情報処理

### 【基礎的科目】

ビジネス基礎(原則履修科目)

# 水産科における系統表・構成表(現行)

## 教科の目標

水産や海洋の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、水産業及び海洋関連産業の意義や役割を理解させるとともに、水産や海洋に関する諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、持続的かつ安定的な水産業及び海洋関連産業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

育成する人材像：実践的な学習を通して知識・技術を習得し、水産業や海洋関連産業の健全な発展を担う職業人

育成する力

水産や海洋の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術  
水産業及び海洋関連産業の意義や役割を理解する力  
水産業や海洋関連産業に関する実践的な態度

水産や海洋に関する諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決する能力  
持続的かつ安定的な水産業及び海洋関連産業と社会の発展を図る創造的な能力

## 5つの分野と科目構成

原則履修科目	水産海洋基礎		課題研究		
<b>海洋漁業分野</b> 漁業生産や船舶運航等に関する知識や技術を習得させ、実践的な態度を身に付けさせる	<b>海洋工学分野</b> 船用機関や海洋工学等に関する知識や技術を習得させ、実践的な態度を身に付けさせる	<b>情報通信分野</b> 無線通信士や通信機器に関する知識や技術を習得させ、実践的な態度を身に付けさせる	<b>資源増殖分野</b> 水産増養殖や海洋生物に関する知識や技術を習得させ、実践的な態度を身に付けさせる	<b>水産食品分野</b> 水産食品の製造、管理及び流通に関する知識や技術を習得させ、実践的な態度を身に付けさせる	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">漁業</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">航海・計器</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">船舶運用</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">小型船舶</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">水産流通</div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">船用機関</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">機械設計 工作</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">電気理論</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">小型船舶</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">海洋環境</div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">電気理論</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移動体通 信工学</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">海洋通信 技術</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">海洋情報 技術</div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資源増殖</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">海洋生物</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">海洋環境</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">小型船舶</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">水産流通</div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">食品製造</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">食品管理</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">水産流通</div>	
共通的な科目	総合実習	海洋情報技術	水産海洋科学	ダイビング	マリンスポーツ

# 家庭科(専門)における系統表・構成表(現行)

## 教科の目標

家庭の生活にかかわる産業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、生活産業の社会的な意義や役割を理解させるとともに、生活産業を取り巻く諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、生活の質の向上と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

### 育成する人材像

少子高齢社会の進展や食育の推進、ライフスタイルの多様化に対応した、衣食住、保育等のヒューマンサービスに関わる生活産業のスペシャリスト

### 育成する力

- 家庭の生活に関わる産業に関する基礎的・基本的な知識と技術
- 生活産業の社会的な意義や役割の理解
- 生活産業を取り巻く諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、生活の質の向上と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度

### 分野と科目構成

#### 課題研究 (原則履修科目)

#### 衣分野

服飾文化  
ファッション造形基礎  
ファッション造形  
ファッションデザイン  
服飾手芸

#### 食分野

フードデザイン  
調理師養成課程履修科目  
食文化 調理 栄養  
食品 食品衛生  
公衆衛生

#### 住分野

リビングデザイン

#### ヒューマンサービス分野

子どもの発達と保育  
子ども文化  
生活と福祉

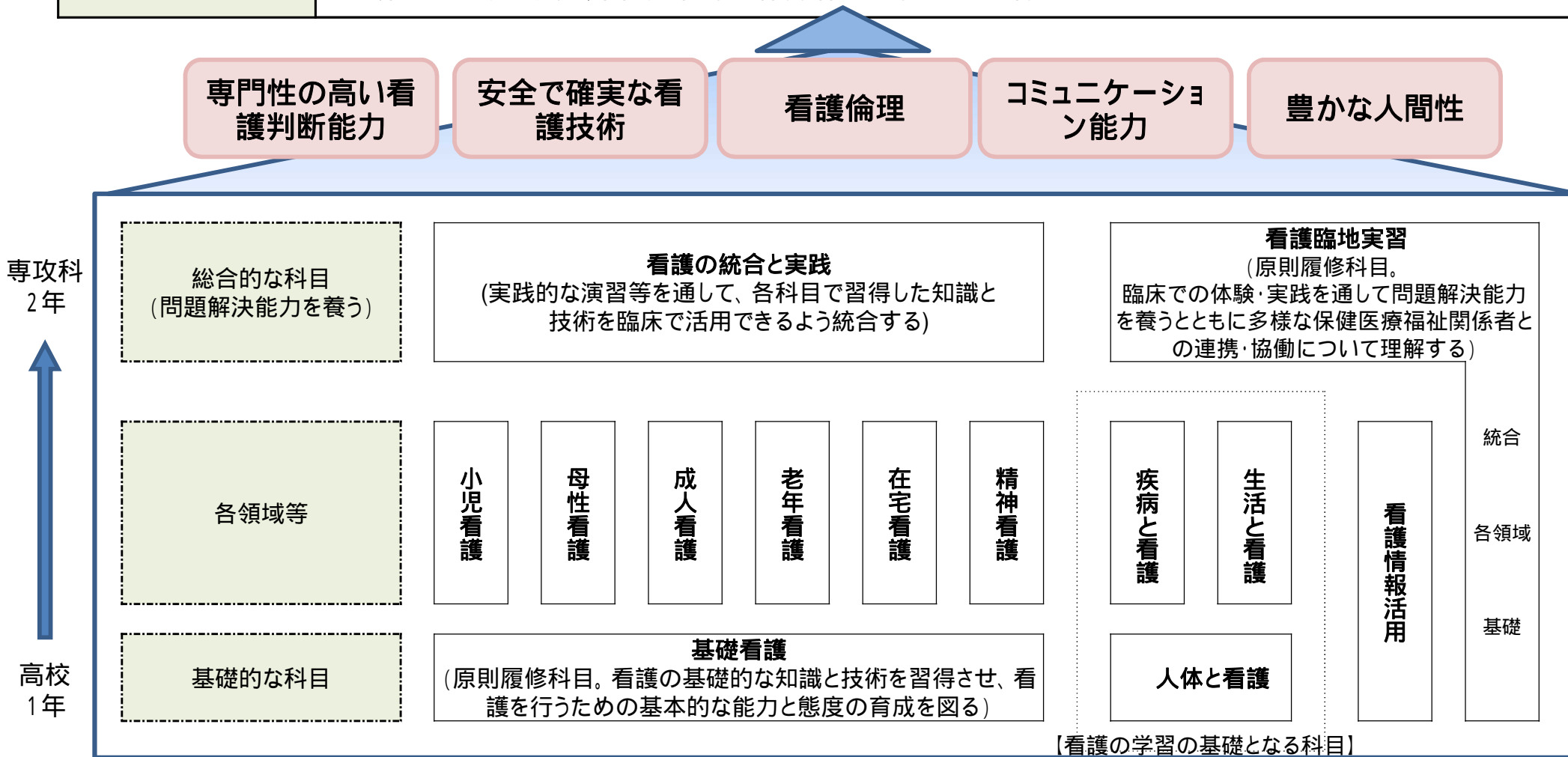
生活産業基礎(原則履修科目)

生活産業情報

消費生活

# 看護科における系統表・構成表(現行)

教科の目標	看護に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、看護の本質と社会的な意義を理解させるとともに、国民の健康の保持増進に寄与する能力と態度を育てる。
育成する人材像	地域社会の医療を支え、国民の健康の保持増進に寄与する人材



【 ~ の学習内容】

人体と看護 - 人体の構造と機能、栄養、感染と免疫

疾病と看護 - 疾病の成り立ちと回復の過程、薬物と薬理

生活と看護 - 精神保健、生活と健康、社会保障制度と福祉

看護臨地実習 - 基礎看護、小児看護、母性看護、成人看護、老年看護、精神看護、在宅看護、看護の統合と実践

# 情報科(専門)における系統表・構成表(現行)

## 教科の目標

情報の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、現代社会における情報の意義や役割を理解させるとともに、情報社会の諸課題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、情報産業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

## 育成する人材像

情報に関する知識と技術を習得し、変化の激しい情報社会に対応するために学び続けるとともに、地域の企業等の問題を発見し解決することができる人材



## 【総合的科目】

課題研究(原則履修科目)



## 【各分野の科目】

### システムの設計・管理分野の科目

情報システム実習

アルゴリズムと  
プログラム

ネットワー  
クシステム

データ  
ベース



### 情報コンテンツの制作・発信分野の科目

情報システム実習

情報メ  
ディア

情報デ  
ザイン

表現メ  
ディアの  
編集と表現



## 【基礎的科目】

情報の表現と管理

情報と問題解決

情報テクノロジー



情報産業と社会(原則履修科目)



# 福祉科における系統表・構成表(現行)

## 教科の目標

社会福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術を総合的、体験的に習得させ、社会福祉の理念と意義を理解させるとともに、社会福祉に関する諸課題を主体的に解決し、社会福祉の増進に寄与する創造的な能力と実践的な態度を育てる。

## 育成する人材像

地域福祉をはじめ福祉社会の健全で持続的な発展を担う職業人

## 科目の構成(9科目)

人間と社会	介護	こころとからだの理解
社会福祉基礎 福祉情報活用	介護福祉基礎 コミュニケーション技術 生活支援技術 介護過程 介護総合演習 介護実習	こころとからだの理解 医療的ケアを含む

福祉・介護人材

演習・実習領域(介護総合演習・介護実習)

介護方法・技術領域  
(コミュニケーション技術・生活支援技術・介護過程)

福祉情報活用

人体及び障害等の医療領域  
(こころとからだの理解)

基礎領域(社会福祉基礎・介護福祉基礎)